

ラグビーワールドカップ 2019 と喫煙規制等について

1 ラグビーワールドカップ 2019 の概要

(1) 開催予定時期

2019 年 9 月～10 月予定 (約 7 週間)

(2) 参加チーム

20 チーム

(3) 試合形式

1. 予選プール 5 チーム×4 プール (プール内総当たり戦) 40 試合

2. 決勝トーナメント 準々決勝、準決勝、3 位決定戦、決勝 8 試合

総計 48 試合

(4) 開催会場

日本全国 12 会場

神奈川県内の試合会場は横浜国際総合競技場 (日産スタジアム)

(5) その他

アジアで初めて開催されるラグビーワールドカップ

2 ラグビーワールドカップ 2019 の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針 (平成 28 年 2 月 24 日関係府省庁申合せ)

《8》大会を弾みとした健康増進・受動喫煙防止対策の強化

大会を弾みとして、個人の主体的な健康増進の取組を促進することにより、健康寿命の延伸を目指す。このため、市町村等が実施する取組への支援を進める。受動喫煙防止については、競技会場及び公共の場における受動喫煙防止対策を強化する。

3 本県への外国人観戦客の推計

神奈川県観光振興計画(平成 28 年 3 月版)に、ラグビーワールドカップ 2019 での本県を訪れる外国人観戦客の推計が記載されていることから、抜粋する。

3 今後の取組の視点

県内の観光をめぐる環境や動向の変化等を踏まえ、次の項目を考慮しながら、観光振興施策を総合的かつ計画的に推進します。

(1) ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした誘客の推進

外国人観光客を誘致するため、特に経済成長が期待されるアジアの国・地域や欧米諸国をターゲットにプロモーションをすることで、県内への誘客の増加を図ります。

ラグビーワールドカップ2015では、全48試合の観客数は247万人に達し、各都市に公式に設けられたファンゾーンには100万人以上が訪れたとされています。2019(平成31)年の日本大会でも約40万人の外国人が訪れると予測されており、さらに横浜で開催される決勝戦で見込まれる外国人観戦客約4万人は平均20日以上滞在すると想定されるため、宿泊施設の確保や県内を周遊する旅行商品の企画・販売を促進していきます。

なお、外国人観光客の多様なニーズに応える宿泊施設を確保するため、「国家戦略特別区域法」の規制緩和(旅館業法の特例)の活用などを検討していく必要があります。



ラグビーワールドカップ2019
開催都市キックオフミーティング